

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日:平成26年10月7日)

開催日及び場所		平成26年9月12日(金) 関東森林管理局 2階小会議室				
委員		紺 正行(委員長・弁護士) 川野 由夫(税理士) 関口 雅弘(ジャーナリスト)				
審議対象期間		平成26年4月1日～6月30日				
審議対象案件		423件	うち、1者応札案件 150件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件			
抽出案件		11件 (抽出率 2.6%)	うち、1者応札案件 3件 (抽出率 2.0%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 50.0%)			
抽出案件内訳	工事	一般競争		3件	うち 1者応札 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし		
			工事希望型競争	該当なし		
			その他の指名競争	該当なし		
	随意契約		該当なし			
	業務	一般競争		2件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争	該当なし		
			簡易公募型競争	該当なし		
			その他の指名競争	該当なし		
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし		
			簡易公募型プロポーザル	該当なし		
			標準型プロポーザル	該当なし		
	その他の随意契約		該当なし			
	物品・役務等	一般競争		6件	うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争		該当なし		
		随意契約(企画競争・公募)		該当なし		
随意契約(その他)		0件				
(特記事項)						
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問			回答等		
	1. 総合評価落札方式において、入札参加者が提出する技術提案書に記載ミスがあった場合は、技術評価点に影響があるのか。また、単純なケアレスミスであれば指摘を行うのか。			1. 記載ミスと思われる内容があっても、評価者側からは単純なケアレスミスなのかどうか判断できず、公平性の面からも、書類の不備として評価せざるを得ない。また、入札執行前に、公平性の面から特定の業者に記載内容についてミスの指摘を行うことはない。		
	2. 技術のある業者がケアレスミスにより評価点が下がってしまうこともあるのでは。技術提案書に記載ミスがあった場合、作成した業者にはその旨伝わり、改善が図れる体制があるのか。			2. 国側から評価結果を通知することはないが、入札執行後、技術評価点に関して事業者側から問い合わせがあれば回答している。		
3. 技術評価の評価項目の内、地域への貢献とあるが、事業に関する技術の高さとの関連性が小さいように感じる。ボランティア精神で行っていることが、技術評価点に結びついてしまうことに違和感がある。			3. 事業実施地である国有林は中山間地域に所在することが多く、国として山村地域の活性化という政策面からも、地域への奉仕活動への取組状況を、評価項目の一つとして取り入れている。			

<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>4. 再入札の回数に制限はあるのか。</p> <p>5. 競争性を確保するためには、参加者を増やす必要があると考える。今後とも、可能な限り入札情報の開示に取り組むとともに、1者応札事後アンケートも有効に活用して欲しい。</p>	<p>4. 「入札心得」では、原則2回までとしている。予定価格と一番札との価格差を勘案し、次の入札執行で落札の可能性が高い状況であれば3回目を行っている。</p> <p>5. 了解。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	平成26年9月12日(金) 関東森林管理局2階小会議室			
委員	紺 正行(委員長・弁護士) 川野由夫(税理士) 関口雅弘(ジャーナリスト)			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日
	H . .			H . .
	内容等 該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				